

東京23区 工場別「清掃工場故障週報」平成21年度

杉並清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|---------|-------|----------|-------|--|
| 80 | 1号炉 | - | H22.3.5 | 9:30 | H22.3.16 | 0:00 | 機器月例点検で幾分高めの振動測定値の結果があった以降、ファンのベース取付ボルトの増締め等実施し、経過観察してきたが次第に振動が増大し、継続の運転が困難と判断し、休炉して点検・清掃す |
| 73 | 1号炉 | - | 1月18日 | 22:30 | 1月20日 | 3:20 | 飛灰搬送装置、「リフトタンク下部閉塞」警報が発報したので、外部より槌打作業を試みたが解除できず、飛灰搬送が不可能となったため焼却炉を立下げた。 |
| 20 | 共通 | 停止 | 6月19日 | 14:30 | 6月25日 | | 1号ごみクレーン運転中に異音が発生したので点検したところ、巻上げドラム用軸受(反減速機側)破損を確認したので使用を中止した。 |
| 18 | 2号炉 | 休炉 | 6月17日 | 18:00 | 7月9日 | 16:25 | 炉内圧力の変動に伴う、誘引ファンの負荷が増大したため焼却炉を立下げた。(先に停止・復旧した1号炉と同様な現象(ボイラ水管、水平蒸発管のダスト付着による閉塞)) |
| 5 | 1号炉 | 休炉 | 4月7日 | 17:00 | 4月24日 | 14:20 | 炉内圧力が不安定となり、誘引ファンの負荷が増大したため焼却炉を立下げた。 |

光が丘清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|--------|-------|--------|-------|---|
| 67 | 2号炉 | 休炉 | 12月12日 | 11:00 | 12月16日 | 18:00 | 点検時、ボイラ下シュート(上流側)を触手により、ケーシング表面温度が一部低いことに気付いた。灰の堆積を推測し、槌打するも解消できないので焼却炉を立下げた。 |
| 9 | 1号炉 | 休炉 | 5月9日 | 0:20 | 5月11日 | 18:06 | No.1ボイラ下ロータリーバブルが過負荷にてトリップした。再起動しても運転できず焼却炉を立下げた。 |
| 2 | 1号炉 | 休炉 | 4月2日 | 14:15 | 4月7日 | 19:40 | 主灰シュート部に直径10cm程の穴あきを発見した。主灰がこぼれ落ちるため休炉し、補修を行う。 |

大田清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|----------|----|----------|-------|---------|---|---|
| 78 | 3号炉 | 休炉 | H22.2.28 | 10:43 | H22.3.2 | 12:47 | 「灰搬出コンベア(2)故障」警報が発報。コンベアチェーンの変形及びリンクプレート脱落により補修のため、稼働中の2,3号炉及び蒸気タービン発電機を立下げた。 |
| | H22.2.28 | | 10:43 | | | 「灰搬出コンベア(2)故障」警報が発報。コンベアチェーンの変形及びリンクプレート脱落により補修のため、稼働中の2,3号炉及び蒸気タービン発電機を立下げた。 | |
| 63 | 3号炉 | 休炉 | 12月4日 | 22:37 | 12月11日 | 6:01 | 飛灰空気輸送装置の故障警報が発報したため、現場確認したところ輸送タンク上部の「投入ホッパレベルH」が発生。原因はホッパ下部の投入弁動作不良と推定され補修のため、炉を立下げた。 |
| 60 | 3号炉 | 休炉 | 11月17日 | 2:38 | 11月20日 | 5:35 | 主灰シュートレベル「L」警報が発報したため現場確認したところ、灰の堆積が確認された。中央制御室より遠隔操作にてブリッジ解除装置を運転したが、解除できなかったため炉を立下げた。 |
| 38 | 2号炉 | 休炉 | 8月24日 | 16:10 | | | 「灰搬出コンベア(2)故障」警報発報。コンベアの主務チェーンリンクがスプロケットから脱落し変形したので補修のため休炉した。なお、このまま定期点検補修工事に入る。 |
| 8 | 1号炉 | 休炉 | 4月24日 | 19:42 | 4月29日 | 4:52 | 灰搬送コンベア(1)の底板・スクレーバ間に鉄パイプが噛込み過負荷にて停止した。コンベアチェーンリンクも変形しており焼却炉を立下げた。 |
| | 2号炉 | | 4月24日 | 19:42 | 4月28日 | 7:23 | |
| 7 | 1号炉 | 休炉 | 4月21日 | 15:10 | 4月24日 | 7:50 | 「電子計算機分電盤」内、排ガス分析計系統の主幹ケーブル端子部が赤熱し、周辺絶縁部が損傷した。調査・補修するには主電源を「断」するため連続測定が不能になるので焼却炉を停止した。 |
| | 2号炉 | | 4月21日 | 15:10 | 4月23日 | 14:37 | |
| | 3号炉 | | 4月21日 | 15:10 | 4月21日 | 18:35 | |

目黒清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|--------|-------|--------|-------|--|
| 51 | T/G | 停止 | 10月14日 | 16:10 | 10月23日 | 14:21 | タービン発電機立上げ中、東京電力(株)との同期投入後「周波数低」警報が発報し、発電機が解列した。調査の結果、周波数継電器の故障とわかり、蒸気タービンを立下げた。 |
| 48 | 2号炉 | 休炉 | 10月10日 | 15:00 | 10月13日 | 16:17 | 蒸気式ガス再加熱器用ドレンタンクから脱気器へのドレン戻り配管にピンホールが発生し、蒸気漏れが激しくなったため焼却炉を停止した。 |
| 33 | 1号炉 | 休炉 | 7月29日 | 8:57 | 8月8日 | 15:18 | 後燃焼右側壁の耐火物が剥離(およそ1㎡)したため焼却炉を停止した。 |
| 21 | 1号炉 | 休炉 | 6月24日 | 20:00 | 7月9日 | 15:35 | 2直点検時に、乾燥火格子下シュートが閉塞しているのを発見。調査の結果、シュート内完全閉塞と判断し、焼却炉を停止した。 |

練馬清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|------|-------|------|------|---|
| 1 | 2号炉 | 休炉 | 4月1日 | 11:00 | 4月4日 | 7:15 | No.1燃焼ストーカ下空気流量が減少したため調査したところ、ホッパ及びシュート部に焼却灰の堆積を確認した。解除のため焼却炉を立下げた。 |

有明清掃工場

なし

東京23区 工場別「清掃工場故障週報」平成21年度

千歳清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|---------|-------|---------|-------|--|
| 79 | 1号炉 | - | H22.3.6 | 13:23 | H22.3.6 | 20:43 | ストーカ制御用のシーケンサ異常により、ごみフィーダ及び各ストーカが運転不能となったため、蒸気タービン発電機及び焼却炉を立下げた。 |
| 68 | 1号炉 | 休炉 | 12月18日 | 9:00 | 12月21日 | 16:50 | 油圧駆動式ごみフィーダ(中央部)の車輪が一部、異音を発生し回転不能となり継続的な運転ができないため焼却炉を立下げた。 |
| 27 | 1号炉 | 休炉 | 7月8日 | 9:30 | 7月14日 | 18:02 | 乾燥(右)ストーカ駆動装置のロッドシール部シールボックスのシール不良及びジャバラ破損のため焼却炉を立下げた。 |
| 4 | 1号炉 | 休炉 | 4月6日 | 9:30 | 4月8日 | 19:09 | 燃焼(右)ストーカ駆動装置のロッドシール部・押さえプレート破損のため、焼却炉を立下げた。 |

江戸川清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|------|------|------|--|---|
| 3 | 1号炉 | 休炉 | 4月4日 | 8:00 | | | 燃焼ストーカ異物噛込みの可能性により、ストーカ動作に支障をきたしたため焼却炉を立下げた。なお、このまま定期点検補修工事に入る。 |

墨田清掃工場

なし

北清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|-------|-------|------|-------|---|
| 11 | 1号炉 | 休炉 | 4月28日 | 14:00 | 6月2日 | 12:15 | 給じん装置(フィードテーブル)の先端銹物冷却用冷却水が漏れいしているため、補修のため焼却炉を停止した。 |

新江東清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|-------|-------|-------|-------|--|
| 35 | 1号炉 | 休炉 | 8月7日 | 2:19 | 8月13日 | 16:49 | 1ボイラダストコンベア(R)のトルクリミッタが作動し停止した。復旧操作を試みるが運転できないため焼却炉を立下げた。 |
| 22 | 3号炉 | 休炉 | 6月29日 | 3:36 | 6月30日 | 1:43 | 「エコマイザダスト搬送コンベア(R)電流値上限」警報で現場確認したところ、コンベア内に灰が堆積していた。また、コンベアの下部シュートも詰まっており、解除作業を行ったが短時間で復旧できないため焼却炉を立下げた。 |
| 17 | 3号炉 | 休炉 | 6月12日 | 16:00 | 6月18日 | 12:15 | 蒸気式空気予熱器(SAH)のドレン配管中、脱気器入口にある仕切弁のボンネット部より蒸気漏れを確認した。増締めすれども漏れとまらず補修するため休炉した。 |
| 10 | 3号炉 | 休炉 | 5月10日 | 11:30 | 5月12日 | 17:31 | 蒸気式空気余熱器(SAH)の戻り蒸気配管中、脱気器入口にある仕切弁フランジ部より蒸気漏れが発生したので休炉した。 |

港清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|-------|-------|-------|-------|--|
| 36 | 2号炉 | 休炉 | 8月13日 | 17:48 | 8月18日 | 22:38 | 飛灰搬送用切替コンベヤが「電流値上限」警報で停止した。調査の結果、反応蒸発塔内噴霧ノズルからの水噴霧状態不良により、切替コンベヤケース内に飛灰が固着したため、復旧するため焼却炉を立下げた。 |

豊島清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|--------|-------|--------|-------|---|
| 74 | 1号炉 | 休炉 | 1月22日 | 17:05 | 1月28日 | 17:01 | ボイラ上部ケーシングの隙間から水蒸気が漏洩しているため調査したところ、過熱低減器給水配管フランジ部からの水漏れを発見した。当該箇所はボイラケーシング内にあるため、焼却炉を立上げて補修する。 |
| 64 | 2号炉 | 休炉 | 12月8日 | 11:00 | 12月23日 | 21:32 | 炉床温度にばらつきと低下現象が現れ、散気管圧力も低下し始めた。以後流動層の流動不良が生じており、回復しないため焼却炉を停止した。 |
| 55 | 2号炉 | 休炉 | 10月25日 | 3:44 | 10月28日 | 16:02 | 給じん機のパドル装置が「給じん機電気故障」警報でトリップした。給じん機内のごみを取除き、再起動操作するが運転できず。調査・補修するため焼却炉を立下げた。 |
| 39 | 1号炉 | 休炉 | 8月29日 | 8:15 | 9月4日 | 19:38 | 不燃物を灰バンカ(A)または(B)に振分ける焼却灰振分コンベアのガイドレールが脱落した。片方向の運転は支障ないが、両方向の運転が必要なため、休炉して補修する。 |
| 19 | T/G | 停止 | 6月19日 | 10:00 | 6月23日 | 12:51 | 蒸気タービン減速機の軸封部から油漏れが確認されたため、調査と補修のために蒸気タービン発電機を停止した。 |
| 16 | 1号炉 | 休炉 | 6月11日 | 11:00 | 6月12日 | 20:15 | 排ガス洗浄塔入口ダンプ点検用マンホールより排ガスの漏れを確認した。マンホールの腐食が考えられ、炉を停止して補修する必要があると判断し、1号炉を立下げた。 |
| 15 | 共通 | 休炉 | 6月8日 | 5:29 | 6月8日 | 8:39 | 東京電力の原因で送電線の電圧低下が発生。電気設備の受電用主変圧器二次遮断器(52S)がトリップした。前日に蒸気タービン発電機が故障で停止していたため、1号焼却炉が非常停止となった。 |
| 14 | 共通 | 停止 | 6月7日 | 8:47 | 6月9日 | 15:35 | 蒸気タービン発電機AVR(自動電圧調整器)に発電機電圧を下げ方向の信号が継続して入力されたため、「AVR軽故障」が発報、その直後に界磁喪失継電器が動作した。その結果、「発電機重故障」でタービンがトリップした。(1号炉は運転中、2号炉は定期点検補修工事中) |

渋谷清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|----------|-------|----------|-------|---|
| 82 | 1号炉 | 休炉 | H22.3.24 | 22:24 | H22.3.25 | 18:22 | 「炉内圧高」の警報が発報し、インターロックにより焼却炉が非常停止したので調査する。また、蒸発量が確保できないため、蒸気タービンを停止した。 |

東京23区 工場別「清掃工場故障週報」平成21年度

中央清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|-------|------|------|------|--|
| 23 | 2号炉 | 休炉 | 6月29日 | 8:20 | 7月7日 | 9:09 | ボイラ前面水管下部管寄せ(右)付きドレン弁(20A)本体のフランジ溶接部ピンホールより蒸気が漏れ、安全を確保するため焼却炉を立下げてドレン弁を交換する。 |

板橋清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|--------|-------|--------|-------|--|
| 61 | 2号炉 | 休炉 | 11月19日 | 1:30 | 12月1日 | 12:56 | 煙突入口ばいじん濃度計の指示値が自己規制値を超過したためごみ焼却を停止した。調査の結果、蒸気式再加熱器の蒸気漏れが発見され、数値上昇の原因と判明したので直ちに焼却炉を停止した。 |
| 49 | 2号炉 | 休炉 | 10月11日 | 21:37 | 10月18日 | 9:33 | 自工場飛灰集合コンベア(B)がトリップした。コンベアチェーン・スクレーバ及びケーシング破損により故障。整備係にてチェーン交換等の処置を講じたが、復旧に至らず。現状での復旧は困難と判断し、焼却炉を停止した。 |

多摩川清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|--------|-------|-------|-------|---|
| 76 | 2号炉 | 休炉 | 2月3日 | 15:00 | 2月13日 | 9:59 | 回転ストーカ炉ロータリージョイントのドレン配管より蒸気漏えいのため、休炉し補修する。 |
| 70 | 共通 | 停止 | 12月30日 | 17:54 | 1月6日 | 19:30 | 2直時点検のため、ごみクレーンA号機の油圧バケットをホッパステージに格納しようとしたところ、「ケーブルリール用MCCB(ブレーカー)断」の警報が発報した。リセット操作を試みたが復旧できなかった。 |

足立清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|----------|-------|---------|-------|--|
| 83 | 1号炉 | 休炉 | H22.3.29 | 4:27 | H22.4.2 | 22:12 | 3燃焼1-2帯の「ストーカリミット異常(サイクルタイムオーバー)」警報がストーカ動作の度発報した。点検窓より炉内を確認したところ、後燃焼ストーカ上に脱落下した火格子が確認された。補修するため焼却炉を立下げた。 |
| 75 | 2号炉 | 休炉 | 11月6日 | 14:00 | 2月26日 | 11:05 | 21年度定期点検補修で誘引ファン流体継手の軸ずれが判明した。部品交換での補修が必要のため補修準備が整うまで、軸振動・異音の監視を強化し運転を継続した。この度、補修準備が整ったので休炉し補修する。 |
| 50 | 1号炉 | 休炉 | 10月13日 | 0:48 | 10月16日 | 11:22 | 2自工場主灰コンベアがトリップした。調査したところ、コンベア内より火格子を発見したので、復旧するため焼却炉を立下げた。 |
| 40 | 2号炉 | 休炉 | 9月2日 | 17:26 | 9月6日 | 11:22 | 「1灰押出装置、燃焼帯ストーカ下二重ダンパ故障」警報で、ストーカの脱落下により灰搬出不良、金属類・焼却灰等の落下を確認した。補修するため焼却炉を立下げた。 |
| 29 | ごみク | 停止 | 7月15日 | 11:31 | 7月15日 | 13:44 | 1・2・3号ごみクレーンの制御異常により緊急停止操作にてクレーンを停止した。 |
| 26 | 1号炉 | 休炉 | 7月6日 | 0:13 | 7月10日 | 9:07 | 2ラン燃焼2-2帯ストーカの1箇所が脱落下した。補修のため焼却炉を立下げた。 |

品川清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|-----|-----|----|-------|-------|-------|-------|--|
| 43 | 2号炉 | 休炉 | 9月19日 | 23:42 | 9月22日 | 14:02 | ストーカ下コンベアの落口から非常時主灰搬出装置にかけて灰が堆積・詰まりが発生し、灰の搬送ができないため焼却炉を停止した。 |
| 32 | 1号炉 | 休炉 | 7月24日 | 11:22 | 8月1日 | 11:16 | 1ボイラ灰搬出コンベアチェーンが破断し、コンベアが稼働できないため焼却炉を停止した。 |
| 117 | 2号炉 | 休炉 | 3月31日 | 15:41 | 4月2日 | 13:42 | 「ストーカ下コンベア故障」警報発報。点検したところ、駆動用モータが回転不能なため焼却炉を停止した。 |

葛飾清掃工場

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|-------|------|-------|-------|--|
| 56 | 1号炉 | 休炉 | 11月2日 | 1:50 | 11月5日 | 12:28 | 主灰搬出装置「機器異常」警報発報。プッシュストロークが前進端まで運転していないことを確認。非常灰バンカ系統へのシュート詰まりと推測し、解除するため焼却炉を立下げた。 |

東京23区 工場別「清掃工場故障週報」平成21年度

世田谷清掃工場(ガス化溶融炉)

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|----------|-------|----------|-------|---|
| 81 | 1号炉 | 休炉 | H22.3.16 | 4:56 | H22.3.27 | 11:44 | 水分を多量に含んだ砂の影響で「不燃物・鉄分搬送コンベア過トルク」の警報が発生した。解除・調査するため休炉した。 |
| 65 | 1号炉 | 休炉 | 12月8日 | 15:00 | 12月9日 | 16:57 | 巡回点検中、3号燃焼溶融炉用空気ダクトより漏れを発見した。補修するため焼却炉を停止した。 |
| 59 | 2号炉 | 休炉 | 11月12日 | 6:45 | 11月14日 | 18:16 | 巡回点検にて、スラグ排出コンベアチェーン・リンクの片側が破断及びもう一方が駆動側スプロケットから脱落し、空運転しているのを発見した。補修するため焼却炉を停止した。 |
| 58 | 1号炉 | 休炉 | 11月3日 | 11:00 | 11月28日 | 13:39 | ポイラ二次燃焼室用ダスト排出コンベアよりダストが排出しない。二次燃焼室下部の詰まりであると判断し、炉を停止した。(立下り時は11月10日10:10) |
| 57 | 1号炉 | 休炉 | 11月5日 | 22:05 | 11月6日 | 14:58 | 破碎ごみ搬送装置及び上流側破碎ごみホッパーシャフト部でごみブリッジが発生したので解除するため休炉した。 |
| 53 | 2号炉 | 休炉 | 10月24日 | 7:00 | 10月30日 | 8:41 | 不燃物排出装置のスクリー軸受部より砂の流出が止まらなくなった。軸受部グランドパッキンの損耗と思われる、補修するため休炉した。 |
| 46 | 1号炉 | 休炉 | 10月6日 | 17:00 | 10月10日 | 9:15 | 不燃物排出装置のスクリー軸受部より砂の噴出があった。軸受部グランドパッキンの損耗と思われる、補修するため休炉した。 |
| 42 | 1号炉 | 休炉 | 9月13日 | 10:47 | 9月16日 | 11:05 | 「砂循環エレベータ電流上限値」の故障警報が発報した。点検後、砂循環エレベータを再起動するも閉塞箇所あるため運転できず。閉塞箇所を解除するため焼却炉を停止した。 |
| 34 | 2号炉 | 休炉 | 8月2日 | 6:40 | 8月4日 | 8:41 | 「砂循環エレベータ故障」発報によりコンベアが停止した。復旧できないため焼却炉を立下げた。 |
| 25 | 1号炉 | 休炉 | 6月30日 | 23:07 | 7月3日 | 10:11 | 「1号不燃物搬送コンベア過トルク」の警報でコンベアが停止した。点検したところ、スプロケット(反駆動側)からチェーン・リンクが脱落しており、補修するため休炉した。 |
| 6 | 2号炉 | 休炉 | 4月13日 | 16:32 | 4月24日 | 9:55 | 点検時、砂供給装置フラップダンパの不調な動きを発見した。強制的にダンパ動かさず改善されず。炉への砂供給ができないため休炉した。 |

中防破碎ごみ処理施設

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|---|----|--------|-------|--------|-------|---|
| 66 | | 休炉 | 12月10日 | 14:30 | 12月22日 | 11:12 | 炉床温度を管理する温度指示値が3点すべて指示不良となり、炉床温度制御が困難になったため、炉を立下げた。 |
| 54 | | 休炉 | 10月24日 | 15:00 | 10月27日 | 11:40 | 砂分級装置のリグロフェロー(板ばね)が破損しているのを発見した。このままでは、運転継続は困難と判断し補修するため炉停止した。 |
| 44 | | 休炉 | 9月22日 | 23:33 | 10月2日 | 16:10 | 砂供給槽出口付近で不燃物による閉塞が生じたため、焼却炉へ砂供給することができなくなり、炉停止した。 |
| 37 | | 休炉 | 8月24日 | 3:05 | 9月11日 | 15:20 | リグロフェロー(板ばね)が破損したため砂分級装置が停止した。砂の循環及び不燃物の排出が不可能となったために炉を立下げた。 |
| 13 | | 休炉 | 6月5日 | 18:27 | 6月11日 | 13:02 | 計装・自動制御設備の400V用一般動力系統のうち、ごみ供給機等焼却設備のシーケンサ電源ユニットが故障し、機器が停止した。中央操作卓より機器の操作が不能のため休炉した。 |

東京23区 工場別「清掃工場故障週報」平成21年度

板橋清掃工場(灰溶融炉)

なし

多摩川清掃工場(灰溶融炉)

なし

足立清掃工場(灰溶融炉)

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|-----|-----|----|-------|-------|-------|-------|---|
| 71 | 1号炉 | 休炉 | 1月15日 | 15:10 | | | 計画停止するため傾動作業中、出滓口下部のスラグシュートに破孔が生じたので灰溶融炉を緊急停止した。なお、このまま計画停止し補修する。 |
| 45 | 2号炉 | 休炉 | 10月5日 | 16:20 | 10月8日 | 2:30 | スラグ処理設備の水砕水槽コンベアが過負荷にてトリップした。コンベアの運転が再開できないのでスラグの搬送が不能のため休炉した。 |
| 28 | 1号炉 | 休炉 | 7月11日 | 13:05 | | | 点検時に、灰溶融炉の炉蓋の一部に浮き上がりを発見したので、調査・補修のため休炉した。 【調査(故障原因の究明及び補修要領)が確定したので9月30日から開始した定期点検補修工事の中で補修が実施される。】 |
| 24 | 2号炉 | 休炉 | 6月28日 | 20:20 | 7月1日 | 17:30 | ろ過式集じん機下のロータリースクレーパーが過負荷でトリップした。点検口より著しい灰の堆積を確認し、解除作業をするため溶融炉を停止した。 |
| 101 | 2号炉 | 休炉 | 1月22日 | 0:33 | 4月8日 | 16:50 | 灰溶融炉プラズマトーチ移動装置がトーチ用シール装置と干渉し、トーチを所定の運転位置に設置できないので、調査するため休炉した。 |

品川清掃工場(灰溶融炉)

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|-----|-----|----|----------|-------|---------|-------|--|
| 77 | 1号炉 | 休炉 | H22.2.26 | 21:15 | H22.3.6 | 3:05 | 溶融スラグ室 Bの出滓部が閉塞したので解除するため、溶融炉を休炉した。 |
| 72 | 1号炉 | 休炉 | 1月17日 | 4:45 | 2月15日 | 2:54 | 溶融排ガス冷却器のロータリースクレーバが過負荷で停止したため、灰溶融炉を停止した。 |
| 30 | 1号炉 | 休炉 | 7月16日 | 0:20 | | | スラグ搬送コンベアチェーンのリンクプレートが変形し、スプロケットから脱落してコンベアが稼働できないため溶融炉を停止した。なお、このまま定期保全に入る。 |
| 12 | 1号炉 | 休炉 | 6月2日 | 3:30 | 6月8日 | 13:15 | 溶融炉本体の前壁冷却水ヘッダー部より水漏れが発生したため、溶融炉を停止した。 |
| 114 | 1号炉 | 休炉 | 3月16日 | 14:30 | 4月12日 | 13:33 | 溶融空気予熱器自動清掃装置の駆動ギアより異音、また軸も異音と同じタイミングで不規則な動きをしており、さらに排ガスの漏れも発生しているのを点検時発見したので、補修のため休炉した。 |

葛飾清掃工場(灰溶融炉)

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|-----|-----|----|--------|-------|-------|------|---|
| 52 | 1号炉 | 休炉 | 10月15日 | 15:05 | | | 低負荷運転のため溶融燃焼室温度が安定せず、燃焼室に付着していたダスト(クリンカ状)が多量に落下した。このため溶融燃焼室ダストコンベアが過負荷でトリップし運転不能となり、溶融灰飛の搬出ができなくなったため炉停止した。このまま計画停止に入る。 |
| 41 | 2号炉 | 休炉 | 9月10日 | 1:03 | | | 断続的な保持運転で様子をみていたが、出滓樋での溶融スラグの固着・堆積が重なり、閉塞状態となったため立上げた。なお、このまま計画停止に入る。 |
| 113 | 1号炉 | 休炉 | 3月22日 | 15:50 | 4月12日 | 7:00 | スラグ出滓口の左側銅ブロック温度計の指示値が上上限を超え、インターロックで溶融炉が非常停止した。温度計故障(断線)と判断し、一旦立上げメタル抜き後に通常停止した。 |

世田谷清掃工場(灰溶融炉)

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|-------|-------|-------|-------|---|
| 62 | 1号炉 | 休炉 | 12月2日 | 6:15 | 12月7日 | 16:00 | '炉底電極アース電流上上限'警報が発報し、プラズマトーチがインターロックで停止したので調査する。 |
| 31 | 2号炉 | 休炉 | 7月20日 | 15:00 | 7月24日 | 16:00 | 保全作業のため溶融炉を傾動しプラズマを停止した。炉内温度が下がった後点検口より確認したところ、炉蓋排気口部分の脱落を発見した。保全作業とあわせ補修を実施する。 |

中防灰溶融施設

| 連番 | 炉 | 状況 | 発生日時 | | 復旧日時 | | 故障内容・備考等 |
|----|-----|----|--------|-------|--------|-------|---|
| 69 | 2号炉 | 休炉 | 12月19日 | 19:23 | | | プラズマ重故障警報「主電極プラズマ電圧H」発報時、中制室監視モニタにて炉天井部でスパーク確認及び溶融炉非常停止した。スパークの発生により、大天井フランジ部が破損し、炉蓋冷却用冷却水が漏水した。なお、このまま定期点検補修(H220116~)に入る。 |
| 47 | 2号炉 | 休炉 | 10月6日 | 10:30 | 11月17日 | 17:54 | 溶融スラグ出滓口廻りの定常はつり作業中、出滓口カバーから漏水を発見した。調査・補修するため溶融炉を停止した。 |
| 77 | 4号炉 | 休炉 | 11月12日 | 19:45 | 5月4日 | 9:19 | 主電極継ぎ足し後、着火時に主電極小天井へのスパークを確認した。点検・調査のため溶融炉を停止した。 |